

<学習内容>

- ▶京の都
- ▶藤原氏の政治
- ▶荘園の増加
- ▶平安時代の文化
- ▶上皇による政治
- ▶上皇と天皇の争い
- ▶平氏政権

京の都

■新しい都

平城京(奈良の都)では、貴族や寺院の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したので、^{かんむ}桓武天皇は今の京都に^{へいあんきょう}平安京をつくり都とした(794年)。



▲平安京(復元模型)



▲桓武天皇

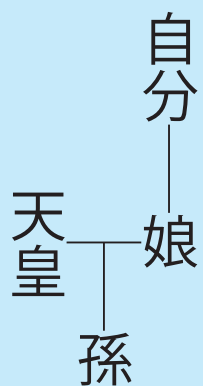
藤原氏の政治

■ 摂関政治

貴族である藤原氏は、自分の娘を天皇の妃にし、その子を次の天皇に立てることで、勢力をのぼしてきた。9世紀後半には、天皇が幼いときには摂政に、成長すると関白という天皇を補佐する職につくようになった。

⇒このことを**摂関政治**という。特に**藤原道長**・**頼通**親子の代に栄える。

摂関政治のしくみ



▲藤原道長



▲藤原頼通



▲『源氏物語』に描かれた貴族の世界

四択問題

794年に桓武天皇は都を平城京から平安京にうつした。その理由として、最も適当なものを次の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 朝鮮半島南部での軍事的指揮権と、倭王としての地位を認めてもらおうとしたため。
- ② 中国の進んだ文化や政治のしくみを取り入れるため。
- ③ 役人の心得を示すため。
- ④ 貴族や寺院の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したため。

④

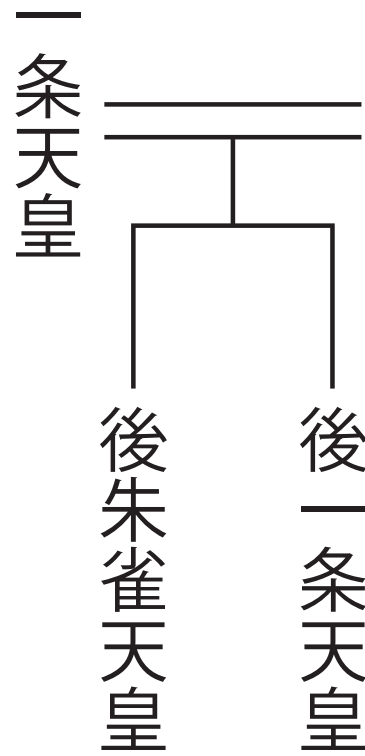
入試問題（平成 25 年度 福井県公立高校入試問題・改）

資料は藤原氏の系図の一部である。Aさんは、資料をもとに藤原氏が勢力をのぼすためにとった手段について次のようにまとめた。(1),(2)に適する語句を書け。

藤原氏は自分の娘を（ 1 ）とし、生まれた子どもを（ 2 ）にして勢力をのぼした。

(1) 天皇のきさき (2) 天皇

藤原道長——彰子



清少納言



『枕草子』

紫式部



『源氏物語』

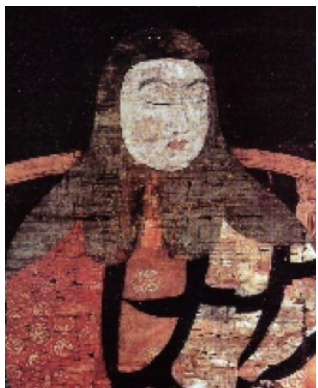
平安初期の文化

■ 時期と特徴

- ① 時期：平安時代初期（桓武天皇のころ）
- ② 特徴：人里離れた山里で厳しい修行を積む

■ 仏教

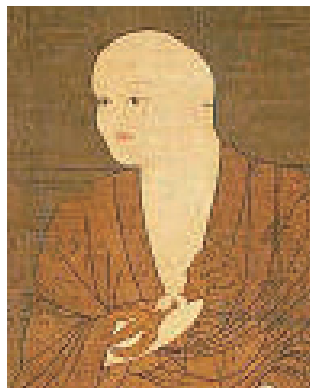
- ① 天台宗：最澄がひらく ◎中心寺院：比叡山延暦寺（滋賀県）
- ② 真言宗：空海がひらく ◎高野山金剛峰寺（和歌山県）



▲
最澄



▲
比叡山延暦寺



▲
空海



▲
高野山金剛峰寺

■最澄：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%80%E6%BE%84> ■空海：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A9%BA%E6%B5%B7>
■高野金剛峰寺：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%87%91%E5%89%9B%E5%B3%AF%E5%AF%BA>

国風文化

■時期と特徴

- ① 時期：平安時代中期（藤原道長・頼通のころ）
- ② 特徴：日本の自然風土や生活にあった文化

■仏教

浄土教（浄土信仰）：末法思想の広まりにより、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う教え

※末法思想：仏教を開いたシャカの死後、年月が経つと世の中が乱れるという思想

⇒**平等院鳳凰堂**（京都・藤原頼通建立）

- ・**中尊寺金色堂**

国風文化

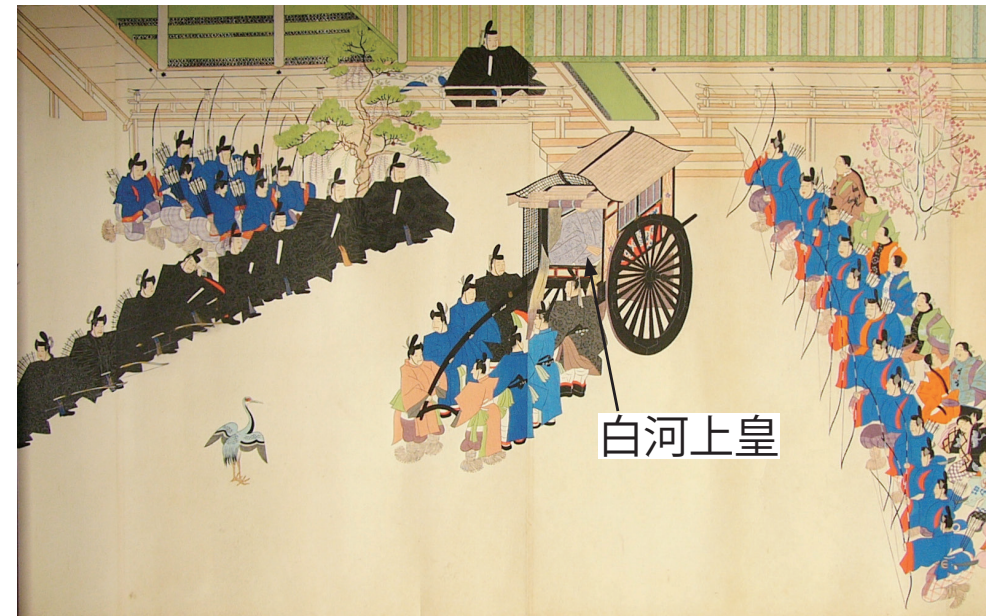


▲平等院鳳凰堂

上皇による政治

■^{いんせい}院政

白河天皇は、自分の子どもに天皇の位をゆずり、^{じょうこう}上皇として政治を動かす^{いんせい}院政を始めた（白河天皇は白河上皇となる）。制約が多かった天皇とは異なり、上皇は自由に政治をおこなえた。



上皇と天皇の争い

■ 保元・平治の乱

上皇と天皇が政治の実権をめぐって争い、京都で保元の乱と平治の乱が起きた。平氏と源氏の武士が集められ、その中で平清盛が源義朝を破り、勢力を広げた。

保元の乱 (1156)

天皇 (弟)

藤原氏 (兄)

平清盛 (甥)

源義朝 (子)

VS

上皇 (兄)

藤原氏 (弟)

平氏 (叔父)

源氏 (父)



▲ 平清盛



▲ 源義朝

上皇と天皇の争い

平治の乱(1159)

平清盛 VS みなもとのよしとも源義朝



▲平治の乱

四択問題

次の文は、白河天皇について述べたものである。() に入る言葉の組合せとして最も適当なものを一つ選びなさい。

白河天皇は、天皇の位を子供にゆずって(A)となつてからも、政治を行い続けた。この政治を(B)という。

- ① A 一関白 B 一摂関政治
- ② A 一上皇 B 一摂関政治
- ③ A 一関白 B 一院政
- ④ A 一上皇 B 一院政

④

平氏政権

■平清盛の政治

- ① 武士として初めて太政大臣になる（1167年）
- ② 娘を天皇の后として天皇の外戚となる
- ③ 日宋貿易：大輪田泊（現：兵庫県）を整備し、宋との貿易を
発展させる